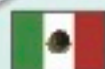


国際ふれあいフェア 2022



メキシコ合衆国
トルーカ市



中華人民共和國
鄭州市



ニュージーランド
ハミルトン市



アメリカ合衆国
リッチモンド市



カナダ
ナナイモ市



アメリカ合衆国
ピッツバーグ市

CONTENTS

- 1 イベント
- 2 コラム
- 3 ご案内



10月9日(日)、浦和駅東口駅前広場で国際ふれあいフェアが開催されました。

「海外姉妹・友好都市とともに 平和な世界を!!」テーマに、3年ぶりの開催が実現しました。開会のあいさつで、実行委員長は「安全に、笑顔で、和気あいあいにふれあいましょう」と、呼びかけました。

このフェアは海外姉妹・友好都市紹介、ふれあいコーナーを中心にしたイベントです。本年は多くの団体が参加し、にぎやかな駅前広場となりました。世界の雑貨では、ペルー、バングラデシュ、ラオス、メキシコ、ネパール、中国、

ケニアの出店がありました。そのほか、さいたま市国際NGOネットワーク、埼玉県警察、防災テントなどの活動も展開されました。

特設ステージではハワイ舞踏、ハワイアンミュージック、ポリウッドダンス、二胡の演奏などが披露されました。最後のサンバの踊りには大勢の観客が押し寄せて、拍手喝采の渦に包まれました。

心配された空模様も閉会時まで穏やかで、皆の願いだった「安全、笑顔、和気あいあい」が終始感じられたふれあいフェアとなりました。



盛り上がったサンバ



優雅なハワイ舞踏



楽しいポリウッドダンス



素敵なお二胡の演奏





センター交流会

10月6日国際協力の日に、北浦和の日本語国際センターで2年半振りに第31回センター交流会が開催されました。30ヶ国*から日本語教師44名をお迎えして、ボランティアスタッフ約15名が参加しました。今回は新型コロナ対策のため一般市民参加は取り止め、スタッフとの交流を行いました。さらに、各人が近づかないようレイアウトを工夫し、大きなテーブルの周りに等間隔に設けられた椅子に参加者が座って話をする方式に変更されました。主催者挨拶のあと、9チーム対抗クイズ大会が行われました。関東と関西の餅は四角か丸？ 大宮氷川神社の鳥居の数？ 10月の日数？などに○×で答え、優勝チームには賞品の羽織が贈られました。クイズ大会のあと、市民ボランティアが各テーブルを移動し、自分の国や家族、行ってみたい所、異常気象のこと、影絵のことなどの話で盛り上がりました。自国からお礼にお土産持参の方もいました。終わりにいつもの合唱を今回は控え、拍手で皆さんをお送りしました。6ヶ月の研修のあと素晴らしい教師として自国で頑張る日が期待されます。



主催者挨拶



テーブル単位で話に花が咲く



クイズ優勝チームへ羽織り授与

*モンゴル、インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、インド、スリランカ、ネパール、バングラデシュ、コスタリカ、ドミニカ共和国、ニカラグア、ホンジュラス、メキシコ、ウルグアイ、コロンビア、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ウクライナ、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ハンガリー、ヨルダン

ミニ講座



「チェコ」

ブラハ在住の三角真子氏を講師に迎えミニ講座が開催された*1。
チェコは北海道とほぼ同じ面積で、人口1051万人（内ブラハ128.8万人）。

この国の経済として120年の歴史を持つ自動車産業シエボダが有名。

他に、チェコオリジナルブランドとしてキャンバススニーカー・革靴の老舗パタ、国産100%の材料で作られるビールやワインがある。

ここでは、茶道、生け花等の日本の伝統文化、アニメ等のポップカルチャーに人気があり、三つの国立大学*2には、日本学科・日本学専攻が設けられているほどである。

チェコの一番の誇りは、アイスホッケー、次はブラハ最古のカレル橋、そしてブラハ城、お城というより小さな町と言えるほどの広さがあり、その敷地内に聖ヴィート大聖堂（高さ96.6m、奥行き124m、幅60m）などがあり、散歩しながら観光ができると言われている。最後に、講師が選んだチェコの三大料理は次のとおり。

①メドブニーク：ハチミツ、練乳、砂糖のケーキ②スヴィーチュコヴァー：豚肉のポットローストにクリーミーな野菜のソースと克蘭ベリーがかかったもの③ローストダック：鴨の骨付きもも肉をローストしたものに、赤キャベツが添えてある。

*1 当初のオンラインでのライブ開催を、録画での期間限定公開に変更。

*2 カレル大学（ブラハ市） マサリック大学（ブルノ市） パラツキー大学（オロモウツ市）



▲現地の友人連と（中央が講師）



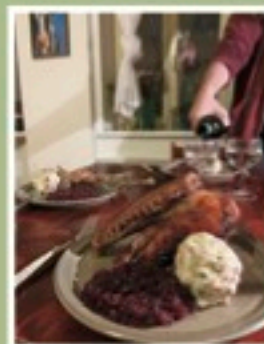
講師プロフィール

三角 真子（みずみまこ）

- 県内の高校を卒業後、アメリカの大学に入学
- ハンガリー政府奨学金を受けハンガリー国立大学に入学
- ハンガリー首都ブダペストの大学院に入学（国際関係学専攻）
- 現在、チェコの首都ブラハでInternational Study Program Ltdに勤務



▲聖ヴィート大聖堂



▲講師お勧めのローストダック



Leander Hughes先生によるWeb英会話講座 "Beyond Comics: Manga (and Kabuki!)" (9/30日開催)

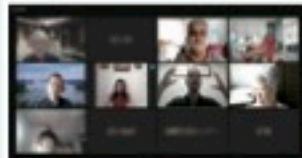


ミネソタ州出身のLeander先生によるWEB英会話講座がオンラインで開催されました。今回のテーマは、
"Beyond Comics: Manga (and Kabuki!)" (コミックを超えて: マンガ[と歌舞伎!]) でした。

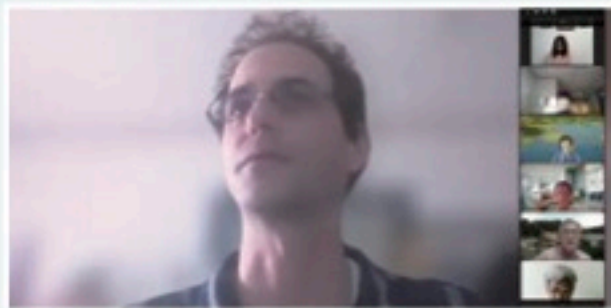
"manga"は、日本の漫画を指す一方で、"comics"は、「スーパーマン」や「バットマン」のようなアメリカのスーパーヒーローを指します。

皆さんは、"manga"に描かれる表情に注目したことはありますか? Leander先生からすると"manga"におけるキャラクターの表情は少し大きいです。ドラえもんに泣きつくのび太を想像するとわかりやすいのではないのでしょうか。

一方で、現実世界の日本人は、"manga"に描かれる表情と比較すると、控えめな表情を浮かべると分析していました。講座におけるディスカッションでも、この話題が熱く



▲参加者の皆さん



▲Leander先生

繰り広げられているのが印象的でした。

大勢の前では控えめに振る舞おうとされている日本人ですが、マンガの描写からは、現実世界とは一線を画す、解放されたような表情が見られるのは、非常に興味深く感じました。

Let's ボランティア

今回は
宮本正勝さん
のお話です。



中学生の時、アメリカ人女性宣教師と出会い、初めて食べたケーキの美味しさにつられ、英語で聖書を勉強したのが国際交流の始まり。

26歳の時にタイに駐在したのが初めての海外生活。初めて見るタイ文字は珍しく見えた。海外駐在8年以外に、30年間で数十か国に海外出張した。タイやイランの革命、ソ連のアフガン侵攻を直前ですり抜け、当時の南アフリカで、公衆トイレの「白人専用」の文字に困惑した。

外国人から受けた親切に恩返ししてないので、市内在住の外国人にお返しできればと2009年に当協会に参加。最初は椅子運びなどのお手伝いだった。素人だが2010年から、プロ級の庵地紀子さんと写真班を担当し既に11年になる。ゲームに熱くなる参加者をファイナダー越しに見るのは楽しい。ロシアとウクライナ出身の女性が交流会で談笑するのを見た。



▲ピラミッド横のゴルフ場で1982年(本人左)



▲2018年5月4日国際友好フェアで撮影のメキシカンダンス

宇宙飛行士の「宇宙からみると国境線は見えなかった」の言葉を思い出した。

内戦や戦争地域から来た人たちと話すと「日本は平和で良い国です。爆弾や鉄砲の音が聞こえないのですから」と言われた。自身の海外経験と当協会の活動から、日本の安全と平和を次世代に残したい。銃や爆弾から創られるのは平和でなく破壊で、混迷と対立の今こそ民間交流を通じてそれを阻止しなければならない。言葉の壁や肌の色の違いを乗り越え、まず心の中に国境のない世界をボランティアの皆様と目指したい。



2022年10月国際ふれあいフェアで▲写真班担当の庵地紀子さんと

お知らせ

第21回

さいたま市外国人による日本語スピーチ大会

～さいたまに来て、見て、感じて～

- テーマ：《今こそ! 会いたい 聞きたい 行ってみたい》
- 日時：2023年2月4日(土) 13:00～16:00
- 場所：浦和コミュニティセンター 多目的ホール
(コムナーレ10F/浦和パルコ上)
- 定員：200名 入場無料(当日先着順)

さいたま市在住・在勤・在学の外国人が、日常の中で感じたことや考えたことを日本語でスピーチします。皆様ぜひ、会場へお越しください。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、行事内容に変更や中止となる場合があります。

▶ 前回の集合写真



おしゃべりサロン 参加者の皆様へ



現在おしゃべりサロンを一部再開しています。
以下のことに留意いただき参加をお願いします。

- 体調が少しでもすぐれないと思われる方は、参加をご遠慮ください。(喉の痛み、咳、発熱、倦怠感、腹痛等)
- 事前にご自宅で検温
- 筆記用具の持参
- マスクの着用
- こまめに手指の消毒
- 参加記録確認書の記入(参加ごと、毎回)
- 使用された椅子、机等を個々に消毒していただきますようお願いいたします。



12月以降のスケジュールは
HPをご覧ください。

詳細はこちら▶



今年も残すところあと半月あまり、ここからは日暮れが早くなり、時間の過ぎるのが毎年早く感じられます。コロナで明け暮れた1年でしたが皆様お変わりないですか。

ボランティア活動も日増しに活発になり、浦和駅前広場で行われたイベントも多くの参加者で賑わい、当ニュースも号を重ね41号となりました。ここコムナーレ9階のフロアーも多くの人が動きまわり、サークル活動も賑わってきています。来年こそは平穏無事な1年を期待したいですね。

編集部の実情を申せば、編集委員わずか8名での作成で毎号四苦八苦。この窮状を救っていただける方を募集しています。一緒に取材、編集に携わっていただける方、是非ご応募願います。 編集部



公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL https://www.stib.jp/kokusai

